

研究課題 (テーマ)	県内定着率と大学院進学率の一体向上を目指した「授業での県内企業研究紹介」と「富山県ものづくり総合見本市 2019」参加		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	機械システム工学科	教授	坂村芳孝
	機械システム工学科	教授	中川慎二
	機械システム工学科	准教授	畠山友行
	機械システム工学科	講師	木下貴博
研究結果の概要			
<p>大学院進学率を向上させながら、卒業・修了後の県内定着率を向上させることを目的とし、本学大学院を修了後に県内企業に就職した技術者を招き、講義科目内で講演していただいた。3つの科目において、それぞれ別の県内企業技術者を招いた。1年生の必修科目「機械製図」、2年生の専門科目「流体工学」および「材料力学3」である。講義内容に関連する県内企業の研究・製品・業務等について講演していただいた。また、大学院での経験や進学で得たものについて話していただいた。</p> <p>講義で学ぶ内容と卒業・修了後の業務のつながりについても具体的に説明があり、受講生の学習意欲向上に貢献した。先輩から直接話を聞いたことで、会社選び、進学などの進路検討に役立つ機会となったとの感想が、多くの受講者から寄せられた。</p> <p>3年生の必修科目「プレゼンテーション演習」の一環として、富山県が開催した「富山県ものづくり総合見本市 2019」を見学させた。県内企業の活発な活動を、企業技術者から直接教えていただく機会を設けた。企業で働く方々のプレゼンテーションから、受講生は多くの気づきを得た。受講生へのアンケート結果から、富山県内企業や、その企業が持つ技術力について、認知度が向上したことが確認された。</p> <p>単なる企業説明だけではなく、講義科目との関連付け、および、本学卒業生や修了生による在学生へのメッセージを組み合わせることで、大学生への訴求力が強まることを確認した。</p> <p>前年度以前に本取組みに参加した学生の進路選択後アンケートから、本取組みによって、県内企業の魅力を伝えること、および、大学院進学に興味を持たせることができることが明らかとなった。このような取組みを継続することが重要であると考えられる。</p>			
今後の展開			
<p>この取組みを継続し、多くの講義で県内企業の協力による実学としての教育を強化し、学習意欲・県内定着率・大学院進学率の向上に役立てる。協力企業技術者の拘束時間を短縮し、協力を得やすくするために、オンライン参加が可能な体制を構築していく。</p>			